

馬鈴薯コンテナカバーの実用性確認試験



慣行品ブリザック 26.9.4 ①



慣行品ブリザック 26.9.4 ②



慣行品麻布 26.9.4 ①



慣行品麻布 26.9.4 ②



試験品 26.9.4 ①



試験品 26.9.4 ②

試験目的

馬鈴薯コンテナカバーの実用性確認試験

試験作物 及び品種

馬鈴薯(メークイン)

試験資材 及び数量(規格)

馬鈴薯コンテナカバー(長さ1820mm×幅1220mm×高さ1320mm) 2枚

慣行資材

ブリザックシート、麻布

資材使用期間

9月1日～9月13日

試験結果

(1) 作業性について(慣行品との比較)

慣行品に比べ、軽くて作業性は良かった。女性でも簡単に使用できる。

ただし、慣行品はコンテナに掛けておくだけで自重によって風で飛びにくいのが、試験品は軽いためゴムフックでコンテナに引っ掛けなければいけない。

(2) 作物の生育状況または、収穫への影響

遮光性が極めて高く、馬鈴薯が青くなることはなかった。

しかし、コンテナの周囲を覆ってしまうため、晴天時には湿気が逃げにくく、蒸れやすくなってしまった。

(3) 栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 前述のとおり、遮光性が高いため、馬鈴薯が変色しない。

【問題点】: 前述のとおり、晴天時で気温が高い日には蒸れやすい。

(4) 資材の強度・耐久性・崩壊性について

天面部分のシートは補強がなされているため、慣行資材を単独で使用するよりも強度が増している。

コンテナ上部の4つ角が試験品に接触した部分は傷みやすいため、その部分を補強した方がより良い。

モニター感想

作業性や遮光性が高い点はメリットである。ただし、湿気が抜けるような改良が求められると思う。

トラックで運ぶときにはコンテナを2基重ねるため、側面のシート部分を延長したカバーもあると良い。

2基×2段や4基×2段など、より多くの規格があり、安価に購入できるものを作ってほしい。

また、帆布は雨に強く、コンテナ内の湿気も逃がすようなので、天面に使用してはどうか。

JA担当者の感想(生産資材課 所氏)

馬鈴薯コンテナカバーは、幕別町農協の馬鈴薯を作っている組合員の問題点である、日焼けと風乾に適した資材だと感じた。

結果は、使用した時期の天候も悪く、湿度が高かったためか、上手くコンテナ内の湿気が抜けきらなかったが、日焼けもなく、概ね良好だったと思う。

今後の実用に向けて、改良と研究を重ね、より組合員に使いやすいものにしてもらいたい。

今後の使用について

改良して欲しい。

蒸れ防止のために、もう少し風通しを良くし、より湿気を逃がす構造にしてほしい。

将来希望する資材について

湿気を逃がし、なおかつ防水性と遮光性がある安価なコンテナ用カバー。